

3次元画像コンファレンス'96 プログラム

第1日 7月11日(木) 9:50~17:30

開会の辞 (9:50~10:00)

岸本登美夫実行委員長 (NTTエレクトロニクステクノロジー)

セッション1 通信 (10:00~11:15) 座長 泰間健司 (三洋電機)

1-1 光線群表現に基づく3次元空間情報の圧縮

藤井俊彰、木本伊彦、谷本正幸 (名大)

1-2 光線情報の補間に基づくRay-Based Rendering

苗村健、金子正秀、原島博 (東大)

1-3 光線空間理論に基づく実写データとCGモデルを融合した仮想環境の実現

内山晋二、片山昭宏、田村秀行 (キヤノン) 苗村健、金子正秀、原島博 (東大)

1-4 3次元画像伝送のための視差ベクトルの量子化に関する一検討

酒井美和、今泉浩幸、矢島亮一、岩館祐一 (NHK)

1-5 MPEG-2による多眼画像の圧縮と符号化

金敬泰、朴大哲、孫廷榮 (Han Nam University)

1-S 招待講演(1) (11:15~11:45)

『VRMLを用いた3次元通信』 齊藤智秀 (日本シリコングラフィクス)

昼食 (11:45~13:00)

セッション2 入力・処理

座長 佐藤甲癸 (湘南工大)

2-S 招待講演(2) (13:00~13:30)

『3次元シーンの認識と理解』 大田友一 (筑波大)

2-1 立体画像のための画像処理について

姉川総一

2-2 多眼ステレオ法を用いた運動視差の再現可能な3次元画像表示

--- カメラ配置の検討とシステムの評価 ---

佐藤清秀、北原格、大田友一 (筑波大)

2-3 レンティキュラ板の標本化効果を考慮した画像処理アルゴリズム

宮沢篤（日本IBM）

座長 長嶋祐二（工学院大）

2-4 CT値再配置によるボリュームレンダリング法の一考察 周藤安造（東海大）

2-5 輝度エッジと初期視差からの視差エッジの自動推定

吾妻健夫、魚森謙也、森村淳（松下電器）

2-6 視差画像からの立体計測の誤差 河野智晃、岡田勝行、本田捷夫（千葉大）

2-7 顔面三次元画像の簡易作成 岡田勝行、木村亨、本田捷夫（千葉大）

休憩（15:15～15:30）

セッション3 パネルディスカッション（15:30～17:30）

テーマ：サイバースペースと3D

司会：岸本登美夫（NTTエレクトロニクステクノロジー）

パネリスト：

榎並和雅（NHK） ” 仮想スタジオ ”

鈴木元（NTTソフトウェア） ” コミュニケーション環境の革新 ”

野村淳二（松下電工） ” バーチャル・ハウジングの現状とその将来 ”

廣瀬通孝（東大） ” これからのサイバースペース ”

第2日 7月12日（金）9:30～17:55

セッション4 表示（9:30～11:45） 座長 小宮一三（神奈川工大）

4-1 新イメージスプリッタ方式メガネなし3Dディスプレイ

増谷健、濱岸五郎、坂田政弘、山下敦弘、中山英治、井上益孝（三洋電機）

4-2 全周型リアルタイム3次元ディスプレイの一方式 阪本邦夫（大阪市大）

上田裕昭（イメージ情報科学研究所）高橋秀也、志水英二（大阪市大）

4-3 階段状光源アレイとミラースキャナを用いた走査型3次元ディスプレイ

宮崎大介、大久保徹、松下賢二（大阪市大）

4-4 集束化光源列（FLA）による超多眼式立体ディスプレイ

梶木善裕（通信・放送機構）吉川浩（日大）本田捷夫（千葉大）

4-5 高速画像シフト光学系を用いた視点追従型立体プロジェクタ

今井浩、今井雅雄、小椋行夫（日本電気）

座長 魚森謙也（松下電器）

4-6 回折格子を用いた高解像度CRTによる立体表示

中川隆文、中田修平（三菱電機）

4-7 リアルタイム視線検出を用いた焦点調節補償型立体表示装置

大村克之、志和新一、岸野文郎（ATR）

4-8 グレーティングイメージを応用したフルカラー3Dビデオシステム

戸田敏貴、高橋進、岩田藤郎（凸版印刷）

4-9 焦点距離制御式立体テレビ

柳沢信秋、木立昌宏（東洋大）

昼食（11:45～13:00）

セッション5 視覚（13:00～14:00）

座長 吉松浩（ソニー）

5-S 招待講演（3）（13:00～13:30）

『主観的輪郭と透明視の理論 —その本質は occlusion にあり—』

杉江昇（名城大学）

5-1 Personal perceptual and cognitive property for 3D recognition

的崎健、谷下晶彦（東京理科大）

5-2 液晶パララックスバリア方式立体映像による調節と輻輳

奥山文雄、所敬

（東京医科歯科大）八名和夫（法政大）山田貴司、金谷径一（三洋電機）

セッション6 応用（14:00～15:30）

座長 周藤安造（東海大）

6-S 招待講演（4）（14:00～14:30）

『VRの医学応用』

鈴木直樹（慈恵医科大）

6-1 VRインターフェースのための単眼による長方形マーカ位置・姿勢の高精度
実時間推定法

高橋章、石井郁夫、牧野秀夫、中静真（新潟大学）

6-2 樹木の揺れのアニメーション

金山和俊、増山繁（豊橋技術科学大）

6-3 ステレオ超音波像による立体画像診断システムの開発

秋山いわき（湘南工大）伊東紘一（自治医科大）

6-4 3次元画像処理の現場検証への応用

神沼靖子（帝京平成大）

休憩（15:30～15:45）

セッション7 ホログラフィ（15:45～17:45）

座長 本田捷夫（千葉大）

7-S 招待講演（5）（15:45～16:15）

『ホログラフィ技術による立体映像とその応用』 志水英二（大阪市大）

7-1 電子線描画装置を用いた3次元物体の計算機合成ホログラム

浜野智恒（大日本印刷）、吉川浩（日大）

7-2 3次元モデルに基づく人物像のホログラフィ表示についての検討

木下健治（富山商船高専）

7-3 計算機合成レインボウホログラム

谷口浩之、吉川浩（日大）

座長 吉川浩（日大）

7-4 フレネルホログラムの情報圧縮

飯田直治、佐藤甲癸（湘南工大）

7-5 リアルタイム電子ホログラフィの画質改善

田中一行（イメージ情報科学研究所）高橋秀也、志水英二（大阪市大）

7-6 奥行きのある立体像の表示を目的としたホログラフィック・3-Dプリンター用原画作成法

味戸剛幸、本間英明、小尾高史、山口雅浩、大山永昭（東京工大）

閉会の辞（17:45～17:55）

南 敏（関東学院大）